

# 由利本荘市 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

## 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和3年3月31日

作成担当部署 観光振興課、矢島総合支所産業課

## 2 第三セクターの概要

法人名 株式会社鳥海高原ユースパーク

代表者名 代表取締役 植村 清一

所在地 由利本荘市矢島町城内字花立96番地

設立年月日 平成4年5月29日

資本金 60,000千円 【由利本荘市の出資額（出資割合）50,250千円（83.75%）】

## 3 経営状況、財政的リスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社鳥海高原ユースパークは、鳥海山麓観光や産業振興及び雇用の促進を図る観点から、花立地区施設（スポーツ施設、宿泊施設、飲食提供、観光用お土産品の販売）の管理運営を行うことを目的に、平成4年5月に設立された。平成12年から、乳製品加工施設（ミルジー）などの管理運営も加わり、乳製品の製造及び販売を行っている。

経営状況は、平成26年度末時点では債務超過法人となっていたが、宿泊施設「ユースプラトール」の冬期休業（H27～、H29末閉館）、花立クリーンハイツのリニューアルオープン（H28）、花立地域での大型イベント開催による利用者増（H29）などにより、平成27年度から3期続けて黒字決算となり、平成29年度末において債務超過を解消した。しかし、平成30年度は、観光部門、農業部門ともに売上が減少したことにより赤字決算となり、再び債務超過法人となっている。

市町村合併以前の旧矢島町において、平成11年度に運転資金として短期貸付金の貸付を実施し、それ以降継続して毎年度短期貸付金の貸付を行っている。

## 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

観光部門のうち、「花立クリーンハイツ」の指定管理については、経営の負担となっているため令和2年度で終了し、令和3年度から市直営で管理運営を行うこととする。レストラン及び売店はテナント事業者が入り営業を行う。このほか、自主事業として実施していた「鳥海高原矢島スキー場レストラン」についても、令和2年度から撤退している。農業部門は採算性のある事業であることから、営業を強化するなど売上確保策を検討する。

また、令和2年6月に市議会において「第三セクターに係る調査特別委員会」が設置され、第三セクターの調査が行われ、それに平行して市でも第三セクターへのヒアリングや庁内会議での協議を行い、第三セクターの今後について検討を進めてきた。12月には、市議会より「第三セクターに係る調査特別委員会の調査に基づく提言」が示されており、市においても第三セクターの抜本的な見直しについて、存在意義を改めて検証し、事業継続の是非など、存廃の判断を含めて改革を実施することとしている。

## 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

株式会社鳥海高原ユースパークでは、経営健全化に向け、次の点に取り組んでいく。

- ・営業を強化し、本荘由利、秋田エリア量販店への販路拡大を図る。
- ・仕入れと固定経費の見直しを行い、経費削減を図る。
- ・地域特産品を活用した商品開発するなど、地産地消商品の販売強化を図る。

市においても、速やかな判断や対応ができる体制を整備し、情報共有を密にしながら経営健全化に努めていく。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国への緊急事態宣言発令に伴い、例年一定の売上を得られる5月の大型連休に休業を余儀なくされたが、国や市の支援もあり、収支は改善している。スキー場レストラン事業を撤退したことから冬期間の売上は減少となるが、令和2年度末の債務超過解消となるよう黒字決算を目標とする。

## 6 法人の財務状況

	項目	金額（千円）		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸借対照表から	資産総額	38,862	38,338	32,404
	（うち現預金）	（ 8,497 ）	（ 5,745 ）	（ 2,967 ）
	（うち売上債権）	（ 4,948 ）	（ 4,905 ）	（ 4,697 ）
	（うち棚卸資産）	（ 9,241 ）	（ 10,746 ）	（ 9,240 ）
	負債総額	38,684	41,462	37,544
	（うち由利本荘市からの借入金）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
	純資産額	178	△ 3,124	△ 5,140

	項目	金額（千円）		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
損益計算書から	経常収益	140,822	104,946	103,417
	経常費用	138,096	107,134	105,249
	経常損益	2,726	△ 2,188	△ 1,832
	経常外損益	△ 265	△ 930	0
	当期純損益（税引後）	2,277	△ 3,302	△ 2,016